

株式会社ラクト・ジャパン

銘柄コード:3139

2025年11月期 期末

2024年12月1日 ▶ 2025年11月30日

## Contents

社長メッセージ	2
部門別事業概況	3
業績ハイライト	3
中期経営計画「NEXT-LJ 2028」の概要	4
中期経営計画「NEXT-LJ 2028」をさらに詳しく	5
株主還元について	6
アンケートご協力をお願い	6
冬におすすめ! ミルクレシピ	6
株主メモ	6



# 社長メッセージ

## 厳しい事業環境のなか、 売上高・利益ともに過去最高を更新

当社グループは長期ビジョン「LACTO VISION 2032」の達成を目指し、そのファーストステップとなる中期経営計画「NEXT-LJ 2025」を推進してきました。最終年度となる2025年11月期は、商社事業における高付加価値商品の販売拡大や、アジアのチーズ製造販売事業における利益率の改善などにより売上総利益率が改善したことに加え、一過性の利益を営業外収益として計上したことから、業績は期初の想定を大幅に上回り、売上高・各利益ともに過去最高を更新しました。

乳原料やチーズ、食肉などの国際相場が高値で推移し、またインフレの加速によって消費が減速するなど、決して楽観視できる環境ではありませんでしたが、強みである調達力と専門性を活かし、競争力の高い商品を安定的に供給できたことで、利益目標および財務目標を達成することができました。

## 持続的成長に向けて、 「複合型食品企業」への進化を加速

「NEXT-LJ 2025」では、取扱商品の拡大と機能の拡充による「複合型食品企業」への進化を重点施策に掲げ、各部門で事業拡大を実現しました。国内では、乳原料・チーズ部門で高付加価値商品の拡販により利益率が改善し、食肉食材部門では鶏肉関連商品や香辛料といった商品ラインナップの多様化により売上増を実現しました。さらに、機能性食品

原料部門(現・ライフサイエンス事業部門)は着実に事業を拡大し、当社グループ全体の成長を牽引する役割として期待できるまでに成長しました。また、アジア地域における乳原料販売部門では営業体制の強化により対応力が向上、チーズ製造販売部門では品質重視の姿勢や販売後のアフターフォローが評価され、販売数量を増加させることができました。

2026年11月期は、「未来成長に向けた基盤づくり」をテーマとした新たな中期経営計画「NEXT-LJ 2028」の初年度となります。引き続き消費動向が厳しさを増すことが予想されるほか、需給バランスの乱れによる国内脱脂粉乳在庫の積み増しの懸念もあります。そのようななかでも当社は、成長が期待される食品分野への取組み強化や、新商品開発などによる国内の事業成長、旺盛なチーズ需要獲得に向けた製造体制の強化によるアジア事業の成長を通じ、引き続き「複合型食品企業」への進化を目指します。特に、シンガポールの新工場稼働開始に伴い、3年後にはタイ工場と合わせてチーズ製造販売数量を年間1万トンまで拡大する計画です。「NEXT-LJ 2028」の推進により、コアビジネスをさらに拡大させながら、創業30周年を迎える2028年以降の飛躍に向けた準備を着実に進めていきます。

## 「ラクトらしさ」を大切にし、 社会に欠かせない存在であり続ける

当社の経営理念と長期ビジョンを体現する変革の担い手となるのは「人」に他なりません。私の経営者としての重要な

使命は、対話を重視し、お客さまやサプライヤーの皆さまが求めているものを理解する努力を惜しまない「ラクトらしさ」を次世代へつなぐことです。そのために「世界を食で繋ぎ、人々を健康に、そして笑顔にする」というパーパスを常に心にとめ、社会に欠かせない存在であり続けるべく邁進していきます。混沌とした世界情勢のなか、我々が果たすべき役割を従業員一丸となって体現していきますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社ラクト・ジャパン  
代表取締役社長執行役員

小島新



## 部門別事業概況

### 乳原料・チーズ部門

物価上昇の影響により、食品全般の需要が想定を下回ったことから、販売数量は減少したものの、市場が拡大傾向にあるアイスクリームおよび高たんぱく製品関連原料の販売は堅調に推移。



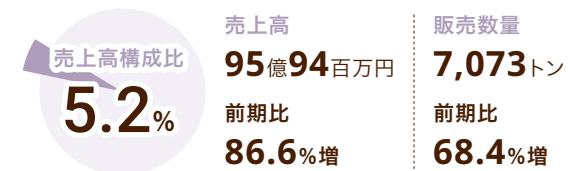
### 食肉食材部門

輸入ポークにおいては、高値で推移する国際相場と円安の影響により厳しい事業環境となったが、顧客ニーズに即した提案を行ったことや、鶏肉関連商品や香辛料などの販売が堅調に推移したことで、増収および販売数量増加。



### 機能性食品原料部門(現・ライフサイエンス事業部門)

乳由来の高たんぱく原料相場は年間を通じて高止まりし、一部顧客で買い控える動きがあったが、大豆たんぱくなどの代替商品を提案するなど、顧客の要望に合わせた対応を行ったことで、増収および販売数量増加。



### アジア事業・その他

乳原料販売部門(商社)では東南アジア地域における現地向け原料販売が堅調に推移。チーズ製造販売部門(メーカー)では品質重視の姿勢などが評価され、現地の外食産業向けやベーカリー向けなどを中心に販売数量が増加。



#### アジア事業(乳原料販売部門)



#### アジア事業(チーズ製造販売部門)



(注)売上高、販売数量ともに数値の表示は端数切捨て、増減率は四捨五入しています。  
売上高構成比の合計：その他事業が含まれていないため、合計値は100%となりません。



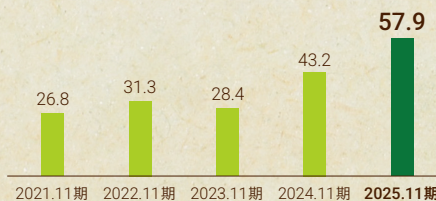
より詳細な財務情報は、当社ホームページをご確認ください。  
業績・財務  
<https://www.lactojapan.com/ja/ir/finance.html>

## 業績ハイライト

売上高  
(億円)



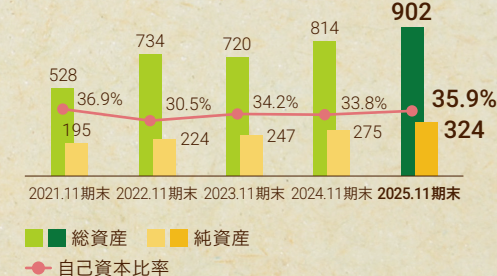
経常利益  
(億円)



1株当たり当期純利益  
(円)



総資産・純資産・自己資本比率  
(億円)



# 中期経営計画「NEXT-LJ 2028」の概要



詳細は当社ホームページをご確認ください。  
中期経営計画「NEXT-LJ 2028」の概要  
<https://www.lactojapan.com/ja/ir/management/plan.html>

中期経営計画「NEXT-LJ 2028」では、製造機能の強化・拡充に加え、次世代の成長の種となる新たな事業創出を進め、未来成長に向けた基盤を着実に構築していきます。

## NEXT-LJ 2025

3か年のテーマ

チーズ製造を含め成長を加速

連結経常利益(実績)

平均年 **43.2** 億円



## NEXT-LJ 2028

3か年のテーマ

未来成長に向けた  
基盤づくり

連結経常利益(計画)

平均年 **54** 億円



## LACTO VISION 2032

スローガン

乳製品専門商社から複合型食品企業へ  
乳製品取扱高日本一、そして世界一へ  
ベストマッチングで需要を創造、酪農・畜産業発展への貢献

2032年11月期(目標)

連結経常利益

**60** 億円

## 「NEXT-LJ 2028」策定に際し大切にしたい考え方

ラクト・ジャパングループが約束する3つの  
“つなぐ tsu-na-gu”

- ・食と健康をつなぐ
- ・価値をつなぐ
- ・志をつなぐ

中期経営計画「NEXT-LJ 2028」では「つなぐ tsu-na-gu」をコンセプトに掲げています。私たちは、「食と健康をつなぐ」「価値をつなぐ」「志をつなぐ」という3つの約束を大切にしながら、お客さまや仕入先、従業員、そして株主の皆さまと意思をつなぎ、日々の事業活動に取り組んでいきます。

## 基本方針

成長領域への集中と  
価値創出力の向上

- 国内：成長分野への集中とサプライチェーンの強靱化
- 海外：市場の深耕と拡大、新工場の本格稼働による成長の加速
- 全社：複合型食品企業に向けた取組みによる付加価値創出力の向上

資本収益性の向上

- 株価および資本コストを意識した経営の実践
- キャッシュ・フローアロケーション：基礎的営業キャッシュ・フローを原資として、未来成長力強化に向けた人材・事業に60%程度、株主還元へ40%程度を配分

グローバル人材の  
強化

- グローバルマインドや異文化対応力の高い人材を戦略的に採用し、企業成長を支える基盤を構築
- グローバルな環境で活躍できる人材を計画的に育成し、中長期的に人的基盤を強化
- スキルマップの可視化による配置と登用の迅速化および適切なジョブローテーションにより、グローバル人材の活躍機会を最大化

**Q** 中期経営計画「NEXT-LJ 2028」の目指す姿として掲げる「未来成長に向けた基盤づくり」の詳細を教えてください。

**A** 中期経営計画「NEXT-LJ 2028」においては、当社グループの未来成長を確実なものにするための取組みがスタートします。そのなかでも最も影響の大きい施策としてシンガポール新工場の稼働が挙げられます。製造能力の拡大を梃子に需要を取り込み、事業成長と発展を目指します。また、国内では、業務効率化に向けて基幹システムを刷新します。これらはいずれも2026年11月期の稼働開始を予定しており、当面は減価償却費の増加により費用負担が先行しますが、当社独自のビジネスモデルを進化させるための重要な投資と位置付けています。2028年に創業30周年を迎える当社の「未来成長」に、ぜひご期待ください。

### 中期経営計画

## 「NEXT-LJ 2028」

をさらに詳しく

**Q** “つなぐ tsu-na-gu”をコンセプトとした背景を教えてください。

**A** 中期経営計画「NEXT-LJ 2028」策定の過程で、当社がステークホルダーの皆さまに提供できる価値は、単に需要と供給をつなぐ原料輸入にとどまらず、「食と健康を安定供給で支えること」「仕入先・販売先双方のニーズを満たす新たな価値を創出すること」「創業時からの思いを継承し続けること」であると再度認識しました。このような考えのもと、3つの「つなぐ」を、改めて大切にしたい考え方として掲げています。

**Q** シンガポールのチーズ製造拠点について、なぜ新工場の建設・移転を決めたのですか？

**A** シンガポール現工場では、事業拡大に伴い、ここ数年はフル稼働が続き、製造能力が限界に達していました。一方、東南アジアでは今後も経済発展に伴う食の欧米化と乳製品需要の拡大が見込まれていることから、ビジネス機会を獲得し、さらなる事業成長につなげていくために、製造基盤の拡充が不可欠でした。製造能力の拡大に加え、各国の食文化に適した商品開発を進めるため、アジアにおける生産の中核拠点であるシンガポールに新工場を建設しました。

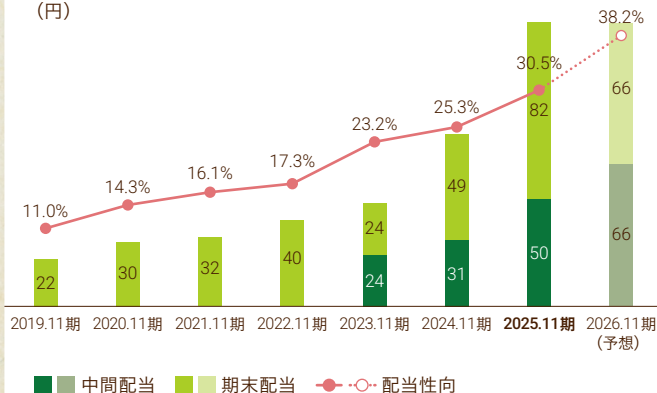


**Q** 中期経営計画「NEXT-LJ 2028」で人的資本経営の推進を掲げていますが、特に注力する点は何ですか？

**A** 当社は従業員のウェルビーイングと成長の両立を通じて、持続的な企業価値の向上を目指しています。そのなかでも最も重要な施策のひとつとして「グローバル人材の強化」を掲げています。戦略的な採用に加え、次世代を担う人材を中心に海外研修や海外での業務経験の機会を提供することで、グローバルマインドを醸成し、当社グループの成長を支える人材の育成を加速させていきます。

## 株主還元について

### 配当金・配当性向の推移 (円)



(注)当社は、2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。1株当たり配当金については、当該株式分割の影響を遡及修正した数値を記載しています。

当社は、中期経営計画「NEXT-LJ 2028」の策定にあたり、成長投資や財務健全性などを総合的に考慮し、配当方針を見直しました。

これまで「配当性向30%以上の実現」を目標としてきましたが、2025年11月期に同目標を達成したことを踏まえ、新たに中期的に目指す配当性向の水準を35%以上に引き上げるとともに、累進配当制度を導入することとしました。

累進配当制度とは、年間配当金の維持または増配を基本とする制度です。これにより、株主の皆さまへの安定的かつ継続的な利益還元を図るとともに、株主還元と成長投資の両立を通じて、持続的な企業価値の向上に取り組んでいきます。

## 株主メモ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
基準日	11月30日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公示いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

## アンケートご協力のお願い

下記のURLあるいは二次元コードをお読み取りいただき、アンケートにご協力をお願いします。アンケートにご回答いただいた株主さまのなかから抽選で、**QUOカード1,000円分を30名さまにプレゼント**いたします。(当選者の発表は、QUOカードの発送をもって代えさせていただきます。)

アンケート締切  
**2026年  
3月31日**



ご回答はこちらから

<https://forms.office.com/r/5wTjEyQ6wq>

※ アンケートは、WEB回答のみとさせていただきます。

## ＼冬におすすめ！／ ミルクレシピ

りんご  
シナモンミルク

### 材料(1人分)

りんご …… 1/2コ分  
塩 …… 少々  
シナモン …… 少々  
牛乳 …… 200ml



出典：JミルクWEBサイト「ミルクレシピ」  
<https://www.j-milk.jp/recipes/recipe/9fgd1p000000fvhb.html>

### 作り方

- さいの目に切ったりんごと皮、塩、水大さじ3を鍋に入れ、沸騰したら弱火にして、りんごがやわらかく透明になったらシナモンを混ぜる。
- 別の鍋で牛乳を温め、りんごを適量加える。

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関（三井住友信託銀行）にお問合せください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。



〒103-0027  
東京都中央区日本橋二丁目11番2号  
太陽生命日本橋ビル22F  
2026年3月30日より本店を移転いたします。  
詳細は当社ホームページをご確認ください。



より詳細なIR情報は、当社ホームページをご確認ください。

株主・投資家情報

<https://www.lactojapan.com/ja/ir.html>